



第 15 号  
 京都教育大学教育学部  
 附属桃山中学校  
 同窓会 会 誌  
 発行人 会長 竹村一志  
 京都府伏見区桃山井伊野町東町16  
 TEL (075)-611-0264  
 FAX (075)-611-0371

♡ごあいさつ♡



桜の便りが話題にのぼる季節になりました。同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、附属桃山中学校並びに本同窓会の活動にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

会長に就任して以来6年になろうとしています。その間、毎年百三十人前後の卒業生が同窓会の会員になっていただきました。すでに6千人を超えています。何か情報をお知らせしたくても、紙ベースで郵送するには簡単にできない状況にあります。そのようなことから、前回の会報でホームページを立ち上げて情報発信することをお約束いたしました。そのホームページもようやく立ち上げることが出来ました。内容はまだまだ充分なものではありませんが、今回の同窓会総会の案内、「つゆ草」のバックナンバーなどを掲載しております。別記のアドレスにアクセスしてご覧になってください。運営のあり方などは今後、役員会や皆様のご意見を参考にして検討を重ねていく予定でいま

すので、各期の評議員あるいは情報化委員までご連絡をいただければ幸いです。

次に、同窓会の名簿を最近では6年毎に発行してはいましたが、個人情報保護法の施行により、発行には様々な問題を解決しなければならず、役員会での検討の結果、今回は発行を見合わせました。ただ、名簿としての発行はいたしません。名簿の管理は同窓会として行いますので、住所変更等につきましては、ご連絡をお願いします。名簿の発行については、今後の検討課題として役員会でさらに検討を重ねてまいります。

また、一昨年は中学校の創立60周年を迎え、来年が同窓会の設立60周年となります。そこで、今回のつゆ草の集いは例年とは少し趣を変えて、元ジローズの杉田二郎氏にお願いして、ミニコンサートを開催いたします。若き日に口ずさんだ懐かしい歌を聞きながら盛り上がりつつ、ただければと企画しました。是非とも大勢の方にご参加をいただきたいと願っておりますので、よろしくお願いたします。

同窓生の皆様には、今後とも附属桃山中学校並びに同窓会の活動にご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

京都教育大学附属  
 桃山中学校同窓会会長

竹村一志(14期)

つゆ草の集い

京都教育大学 教育学部附属 桃山中学校同窓会総会

■とき

2009年6月13日(土)  
 午後3時 受付開始  
 午後4時 開会  
 午後7時 終了予定

■ところ

ウェスティン都ホテル  
<http://www.westinniyako-kyoto.com/>  
 京都市営地下鉄東西線 蹴上駅下車

■会費

社会人 10,000円  
 大学生 6,000円  
 高校生 3,000円

※ 出欠のお返事は同封葉書で5月10日までにお願いします。

(注) 出席のご返事を頂きながら、当日ご欠席されました際には、会費をご負担頂く場合もございますので、何卒ご了承くださいませ。

—プログラム—

ミニコンサート  
杉田二郎氏



—プロフィール—

生年月日:1946(昭和21)年11月2日生  
 出身地:京都

フォークが全盛だった1967年頃、アマチュアグループ【ジローズ】を結成。「あなただけに」が当時の学生の間で大ヒットし、1968年4月5日に東芝よりデビュー。同年10月、「はしだのりひこ」と共に【はしだのりひことシューベルツ】を結成し、「風」(69年1月)、「さすらい人の子守唄」(69年6月)などが大ヒット。1970年に森下次郎と【ジローズ】を結成。大阪万博の時に北山修と共作した「戦争を知らない子供たち」(71年2月)が1971年に大ヒットする。1972年ソロアーティストとなった後も、「男どうし」(75年9月)「ハヶ岳」(78年2月)「ANAK(息子)」などを発表、「再会」(なかにし礼/宇崎竜童 '86年5月)で日本有線大賞協会選奨を受賞する。現在も、シンガーソングライターとしてコンサートを中心に活動を続ける。

—DISCOGRAPHY—

- 1968/04/05 あなただけに/マイ・ハート
- 1969/01/17 風/何もいわずに
- 1971/02/01 戦争を知らない子供たち/愛とあなたのために
- 1975/09/20 男どうし/天の川
- 1978/09/01 ANAK(息子)
- 1986/05/22 再会/出来心
- 1996/03/25 もっともっと/ボロシリ岳~風のように雲のように~
- 11/21 ふりむけば愛(TX12時間超ワイドドラマ「炎の奉行 大同越前守」主題歌)
- ／涙の河(TX「徳光和夫の情報スピリッツ」エンディングテーマ)
- 2001/09/05 人生半分/鳥(TX「いい嫁・夢気分」エンディングテーマ)
- 2004/02/25 千鳥足/お前に

皆様の多数のご参加を心より  
 お待ち申し上げております。

「同窓会では運営のための寄付も受け付けております。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます」

## 「創立50周年記念 美術展の思い出」

私が本校同窓会と関わりを持つようになったのは、平成元年度に副校長に就任してからです。私の前任副校長の種村先生は、ご自身が本校卒業生でしたので、同窓会とのつながりが深く、人脈も豊富なようでしたが、私の場合は全く様子が分からず、当初、大変不安があったことを覚えていいます。ところが、同窓会役員の方々は皆さん好意的に私を受け入れてくださり、学校にたいしても大変協力的でした。そして、そのことは役員の方々が改選されても終始変わることなく、現在までずっと続いています。そして何より変わらないのは、役員の方々の母校愛です。歴代の役員の方々が、大変ご多忙な日々の中で、同窓会の維持発展、さらには母校のために、惜しむことなく時間と労力をつぎ込まれる姿に、いつも驚きと感謝の念を感じていました。

ところで、同窓会とのかかわりで、私が最も印象に残っていることは、平成9年度、本校が創立50周年を迎え、その記念事業の一環で「創立50周年記念美術展」を、同窓会との共催で開催できたことです。同窓会役員の方々がご尽力くださり、美術関係で活躍中の本校卒業生がリストアップされ、出展

交渉もしていただけた。中には全国的に知名度の高い作家もご出展くださり、大変恐縮したものです。美術といっても、日本画、洋画、版画、工芸、彫刻、デザイン、写真、書道まで幅広いジャンルの作品が集まり、その全てが完成度の高い作品ばかりで、改めて本校卒業生の活躍の幅広さに感銘を受けました。展覧会は、学校の文化祭と同窓会総会にも日程を合わせ、卒業生は言うまでもなく、在校生や保護者、さらには地域の方々にも本校卒業生の立派な作品を公開しました。会場は新築されたばかりの体育館1階の多目的室を使いましたが、豊かな外光の入る明るい大空間は、十分な天井高と床面積がある立派な展示会場となりました。50年にわたる年代を超え



た同窓生による作品展という企画の良さと、出品されている作品群の質の高さもあって、その展覧会は京都新聞に写真入りで紹介されました。展覧会後の作品搬出の時、皆さんから「ぜひまたこのような展覧会をしましょう」と言ってもらい、お世話いただいた同窓会役員の方々とともに、私も苦勞が報われた気がしたものです。

私は、昨年度末で定年退職し、現在は短大で美術教育に携わっていますが、同僚にも附属桃中卒業生がいますし、関係者に育友会や同窓会でお世話になった方が何人もおられ、いつまでも附属桃中と繋がっていることを、大変ありがたく感じております。京都教育大学附属桃山中学校と同窓会の益々のご発展を祈っております。

多羅間拓也(前副校長)

## 「福祉・介護時代の ストレスケア」

生きとし生けるものは、それぞれに生きる勢いを持っています。ライフサイクルを通して、命の証しを発揮しながら生きる表現はいろいろあります。生命の表現として、私は福祉の仕事を選びました。きっかけは、障がいをお持ちの子どもたちやご家族との出会いでした。私のことが幼いときに高熱を発し、そのことから片方の聴力

を失いましたが、闘病のための入院時期に多くの生き方を学ぶことができたのです。青春・朱夏・白秋・玄冬の人生の季節を障がいや病気が、不安と共に生きる方たちの真剣な顔みに、生きる辛さと喜びを教えていただきました。

昨年末から「雇用止め」や「失業の時代」といった現状が、わが国にはあります。雇用のミスマッチといわれ、福祉・介護のマンパワー不足の補充に多くの人たちの雇用を期待されていますが、実際には、なかなか福祉・介護の現場に定着できる人は少ないのです。いろいろな原因が考えられるでしょう、世に知られた手取りの低さもありますが、人間関係と仕事のあり方の違いから辞される方が多いのです。

福祉・介護職に求められる仕事の基本は「人を愛すること」です。マザーテレサの言葉に「愛することは、理解すること、許すこと」があります。仕事として、しっかりと「人を愛すること」が大切だと思います。「愛すること」の仕事としての具体的表現が、個別支援になります。人は皆、各人かく様に個性にあふれた多彩な生活習慣と好みを持っていきます。高齢者ならなお更に、生き方の百科事典のような多様性があり達人です。この社会で長生きできることは、大変貴重なことなのです。生きるとは、ストレスと共に生活することなのだ

と高年齢から学びました。福祉・介護

の仕事の醍醐味は、長生きしているストレスケアの達人たちから多くの気付きをいただけることです。人生で、こぼこ道の歩き方やバランス、人生の季節に広がる風景を教えていただける事、お話を聴かせていただく事が財産になります。決して、オムツを替えたり、何かをしてあげることだけが仕事ではありません。毎日が気持ちよく丁寧に生きられるように、「一緒に」生きていくのだと考えています。利用者の日々が介護職員の活力になるように心がけています。介護が家族だけの疲労にならない仕組みが、介護保険ですが、介護職員の疲労が地域の疲労にならないような働きかけが大切です。

現在、福祉分野は国家資格として、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の3つの資格制度があります。介護保険関連には、介護支援専門員というケアマネジメントの担当資格があります。家族や個人が介護を抱え込まないように、地域で専門職と一緒に「支え・守る・つなぐ」協力が始まりました。これからの福祉・介護時代のストレスケアは協力の連帯です。

中川るみ(16期)

(社)日本社会福祉士会副会長  
(社)社会福祉士・精神保健福祉士  
京都府社会福祉協議会  
運営適正化委員会  
苦情解決委員会 委員長

京都教育大学附属桃山中学校同窓会

## 同窓会便り



### 第十期 (昭和33年卒)

附属桃山中学を卒業してちょうど50周年の記念同窓会を平成二十年五月三十一日～六月一日に風光明媚な琵琶湖ホテルで開催しました。卒業後初めて同期会に出席した人や附属小学校のみ同期だった人にも声を掛けて47人が大広間に集いました。宴会ではテーブルごとに中学時代の思い出や近況報告のスピーチがあり半世紀前にタイムスリップして時のたつのも忘れませんでした。65歳を越えた現在、趣味の園芸・美術・音楽・文学などを楽しむ人、仕事に勤しむ人、福祉に生き生きと活動している人、親の介護や孫の世

話を頑張っている人、病氣と向き合っている人などそれぞれです。ホテルの天然温泉でくつろぎ、翌日は好天に恵まれて大型観光船ミシガンで琵琶湖クルーズをしました。青空に湖も映え、周りの山々が輝いた素晴らしい景色を皆でゆつたり満喫しました。  
柏村和可子(10期)

### 第十二期 (昭和35年卒)

昨年9月20日第2回附属桃山小学校、中学校合同同窓会をウエスティン都ホテルにて開催しました。小学校より渡辺、西野両先生、中学校より大南、長谷川両先生方をお迎えし全国よりはせ参じた52名の同窓生が集いました。転校のため卒業出来なかった方が転校以来始めて東京から参加される嬉しいニュースも有りました。

私達同窓生以上にお元気で若々しい先生方のご挨拶を感動してお聞きし瞬時に昔にタイムスリップして昔話に花が咲きました。また荒木、北村両氏による余興も飛び出し大いに盛り上がりました。1次会だけではあつという間に時間が過ぎ48名の方が

ホテル内ラウンジの2次会に大挙して繰りだし親交を深めました。名残を惜しみながら次回の再会を約束して散会しました。  
市原義雄(12期)



### 第十三期 (昭和36年卒)

第十三期卒業生同期会  
平成二十年四月五日(土)  
十二時～十三時半  
松本酒造 酒蔵見学  
十四時～十六時  
懇親会(於魚三樓)

右記の如く、私達第十三期卒業生の同期会を開催致しました。今回は、平成十七年七月に遷厩を記念して開催した同期会(於聖護院御殿荘)以来の三年ぶりの会となりました。出席者40余名は松本酒造内の邸宅を案内して頂き、松本社長(第十三期卒業生)より、松本酒造の沿革、近代化への努力、又酒づくりの基本的な考え方についての講話のあと、経済産業省「近代化産業遺産」の認定について説明がありました。認定年月日は平成十九年十一月三十日、認定群名は「日本酒造の近代化をけん引した灘・伏見の醸造業遺産群」で、松本酒造は、この群の中の一施設を構成しています。その一施設とは、伏見東高瀬川沿いに位置する大正期の木造酒蔵群や明治期のレンガ造りの煙突や倉庫などで平成九年には京都市より、歴史的意匠建造物に指定された他、各種の賞を受賞されておられます。



安岡俊爾(13期)

その後、松本社長より、レンガ造りの倉庫・八角形煙突や仕込蔵などを案内して頂き、「桃の滴」、「日出盛」などを試飲させて頂きました。松本酒造様には、大変お世話になり誠に有りがとう御座居りました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

このあと、京阪伏見桃山駅近くの魚三樓に移り、懇親会に入りました。約40名が昔話に夢中になり、時間のたつのも忘れ、なごやかに会は進行しました。中頃で、自己紹介の時間となり、近況報告や趣味の話に盛り上がり、面白・おかし時間をすごしました。最後に、記念写真の後、来年六月の同期会開催を期して散会しました。

第十四期 (昭和37年卒)



昨年十一月二日から三日にかけて、同期会としては初めて旅行をしました。以前の会で一泊旅行をとの話がまとまっていたのが、ようやく実現しました。もともと、鳥羽のホテルに集合とのこと、全員が行動をとりましたので、ありませんが、十数名は同じ車で鳥羽へと向かいました。車中では、昔話から始まり近況報告等々話が弾んでいました。鳥羽では水族館などで何名かが合流し一路ホテルへ。夕刻には参加者全員26名での懇親会が始まりました。すでに還暦を過ぎた今でも、会えばすぐに昔に戻って思い出



話に花が咲き、会話はなかなかとぎれません。終わりに、それぞれ近況報告などをした後で記念写真を撮ってもらってお開き。都合で当日に帰る人を見送った後は二次会へ。歳を忘れて、カラオケ三昧。こんなことが違和感なしに出来るのも同期会ならではのひと、楽しい時間を過ごしました。翌日は、伊勢神宮に参詣した後、京都へ。次回の同期会での再開を楽しみにして帰宅しました。

竹村一志(14期)



ホームページ開設のご案内

同窓会では情報化委員会を設けて、ここ数年、同窓会の運営の情報化に取り組んでまいりました。具体的には、理事・評議員間のメールを使った連絡、会員名簿の電子ファイルでの管理、またホームページ開設の準備などです。冒頭の会長挨拶にも記されていますように、この度下記のアドレスに同窓会のホームページを立ち上げましたのでご案内します。

このホームページには、同窓会会報「つゆ草」のバックナンバー(第10号から14号まで)、本年6月開催の同窓会総会の案内が掲載されています。また掲示板が設けられています。また、運用方針を今後検討した上で、使用を開始する予定です。

【同窓会役員】(平成25年3月1日現在)

副会長	14	竹村一志
会長	15	川口谷松
理事	13	水木剛
(常任)	18	安田剛
(常任)	19	田村剛
(常任)	22	岡田剛
(常任)	24	中野剛
(常任)	26	小島剛
(常任)	33	堀田剛
(常任)	37	堀田剛
(常任)	41	堀田剛
(常任)	45	堀田剛
(常任)	49	堀田剛
(常任)	52	堀田剛
顧問	12	岡田剛
監事	29	山崎剛
幹事	30	山崎剛
幹事	31	山崎剛
幹事	32	山崎剛
幹事	34	山崎剛
幹事	35	山崎剛
幹事	36	山崎剛
幹事	38	山崎剛
幹事	39	山崎剛
幹事	40	山崎剛
幹事	42	山崎剛
幹事	43	山崎剛
幹事	44	山崎剛
幹事	46	山崎剛
幹事	47	山崎剛
幹事	48	山崎剛
幹事	50	山崎剛
幹事	51	山崎剛
幹事	53	山崎剛
幹事	54	山崎剛
幹事	55	山崎剛
幹事	56	山崎剛
幹事	57	山崎剛
幹事	58	山崎剛
幹事	59	山崎剛
幹事	60	山崎剛
幹事	61	山崎剛
幹事	62	山崎剛
幹事	63	山崎剛
幹事	64	山崎剛
幹事	65	山崎剛
幹事	66	山崎剛
幹事	67	山崎剛
幹事	68	山崎剛
幹事	69	山崎剛
幹事	70	山崎剛
幹事	71	山崎剛
幹事	72	山崎剛
幹事	73	山崎剛
幹事	74	山崎剛
幹事	75	山崎剛
幹事	76	山崎剛
幹事	77	山崎剛
幹事	78	山崎剛
幹事	79	山崎剛
幹事	80	山崎剛
幹事	81	山崎剛
幹事	82	山崎剛
幹事	83	山崎剛
幹事	84	山崎剛
幹事	85	山崎剛
幹事	86	山崎剛
幹事	87	山崎剛
幹事	88	山崎剛
幹事	89	山崎剛
幹事	90	山崎剛
幹事	91	山崎剛
幹事	92	山崎剛
幹事	93	山崎剛
幹事	94	山崎剛
幹事	95	山崎剛
幹事	96	山崎剛
幹事	97	山崎剛
幹事	98	山崎剛
幹事	99	山崎剛
幹事	100	山崎剛